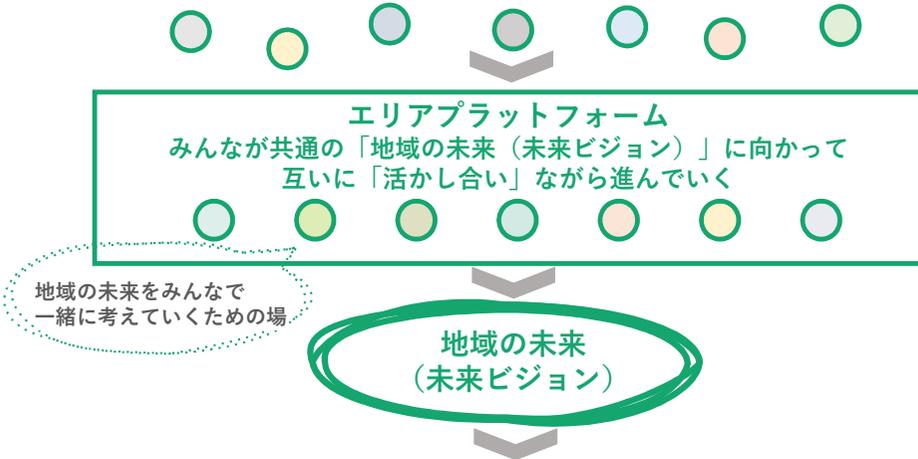


1 未来ビジョン策定の目的

より良いまちにしていくためには、行政だけでなく、住民、企業、団体が地域の持つポテンシャルを最大限生かしながら、コミュニティなどの課題解決に向けて考え、行動することが大切です。将来どんなまちにしたいのかという、具体的な目標や理想をイメージし、まちに関わる様々な方が、同じ目標に向かって取り組むことを目指して策定する地域の将来像です。現在の獨協大学前<草加松原>駅西側地域は、さまざまなステークホルダーが各自まちの未来を考え、活動を行っている状態です。共通のビジョンを持つことにより、地価の上昇をはじめとした地域価値の向上や、多様な人材などを惹きつける持続可能なまちを目指します。

現状：地域内各ステークホルダーが各自まちの未来を考えている状態



地域価値の向上、持続可能なまちの実現を目指す

2 対象範囲

地域の対象は、旧草加松原団地やハーモネスタワー松原を中心とした範囲（約57.6ha）の周辺としました。なお、まちの状況を勘案し、今後柔軟に範囲の見直しを行います。

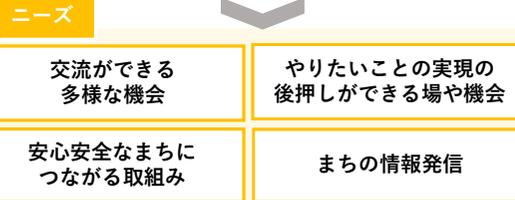


(出典)「地理院地図(電子国土WEB)」に加筆

3 求められる取組

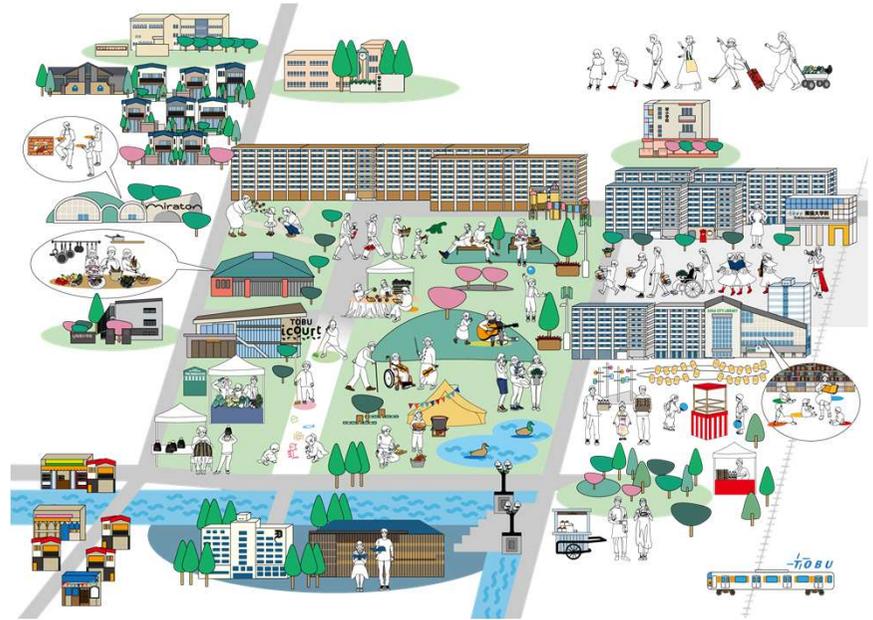
現状
地域に多様な人が住み、さまざまな事業者がそれぞれ想いを持って活動している。大学が持つ学術的な「知」から、自治会や商店会で活動する方など地域に長く関わる方たちが持つ「知」、企業や地域で活動する団体が持つ「知」などがまちの中に存在し、多様な「知(=知識、知恵、叡智、ナレッジ)」がある。

課題
世代間交流ができる場や機会はあるものが多いとは言えず、防犯・防災意識に対する課題もある。また、それぞれの活動者がつながっておらず情報が住んでいる人たちに届いていない。



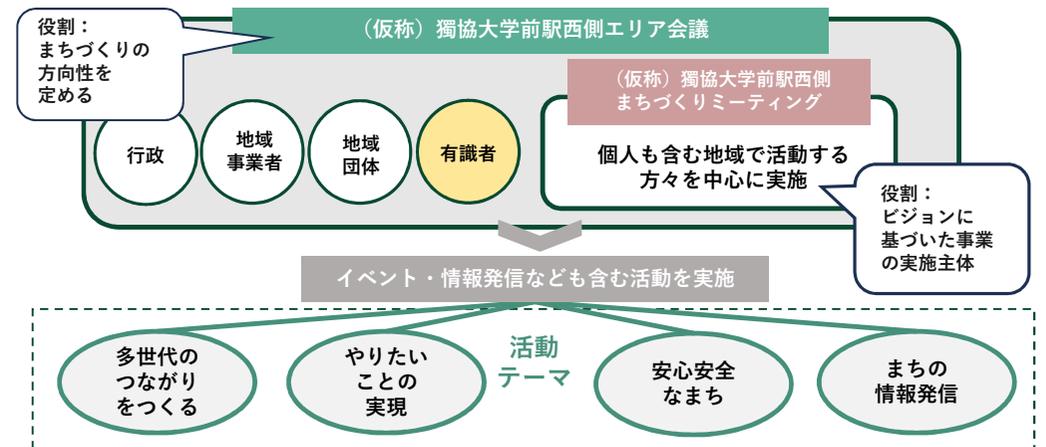
等が求められている

4 鳥瞰図



5 推進体制

目指す将来像に向けた推進体制として、行政、地域事業者、地域団体、有識者が参加し、まちづくりの方向性を定める「(仮称)獨協大学前駅西側エリア会議」を実施します。また、地域で活動をしてみたいという方が集まり、本ビジョンに基づいた事業を実施する主体として「(仮称)獨協大学前駅西側まちづくりミーティング」を立ち上げ、定期的な意見交換の場を設け、それぞれの役割を果たしながら本地域のまちづくりの活動を推進していきます。



6 ロードマップ



多世代がつながり「知」のバトンがつながるまち



暮らしの中で
「気にかけている人」が
いるまち

心地よい
「おせっかい」が
生まれるまち

変化を楽しみ、
まちで起こることを
自分ごと化
し続けられるまち

それぞれが持つ
「知」が引き継がれ、
地域全体で
次世代を育むまち

獨協大学前<草加松原>駅西側地域の
まちづくりに興味がある
個人、企業、団体の方へ

未来ビジョン実現に向けて一緒に
活動してくれる方を募集しています。
まずは、ゴミ拾いなどの活動に参加
することから、イベントのお手伝いを
してみたり、イベントの企画をしてみたり、
いろいろな方々と話すことから
参加してみませんか？

公式LINEではイベントや活動の
情報を発信していきます！
ぜひ友達登録してください▶



住み続けたい、将来戻ってきたいと思えるまちへ